

平成31年度 都立学校・学校経営シート

校章		都立松原高等学校 全日制課程		進路実績	4年制大学 56%	短期大学 3%	専門学校 29%	就職 4%	その他 9%							
		<p style="text-align: center;">可能性の追求 ～「やる気」「その気」を「本気」へ～</p>		特徴 系統的な進路指導 → 進路に対する当事者意識 → 高い志に挑戦する意欲の向上 主な部活動 サッカー(男女) バasketボール(男女) バレーボール(男女) 硬式テニス(男女) 硬式野球 バドミントン 陸上 水泳 ダンス 吹奏楽 演劇 美術 科学 イラスト文芸 クッキング 軽音楽 学校評価 生徒満足度 学校生活…90% 授業…67% 行事…76% 部活動…70%												
基	所在地			〒156-0045 世田谷区桜上水四丁目3番5号		電話番号	03-3303-5381									
	アクセス	(1) 京王線「桜上水」駅下車 徒歩5分 (2) 京王線「下高井戸」駅下車 徒歩7分 (3) 東急世田谷線「下高井戸」駅下車 徒歩7分														
本	学 科	普通科														
	在 籍 数	584(男子281・女子303) ◎一学年5クラス 計15クラス														
情	教育課程の特徴	◆三学期制 ◆50分6時間授業 ◆習熟度別授業実施(数学・英語)														
	ホームページ	http://www.matsubara-h.metro.tokyo.jp/site/zen/		自律経営推進予算 31年度(単位:万円)	2118.0											
報	そ の 他	「進学アシスト校」指定 平成31年度～平成33年度		校 服	制服	ブレザー(紺) ネクタイ/リボン 女子 スラックス有										
	入 学 者 選 抜 情 報	募集人員【推薦】38(男子20・女子18) 【学力】158(男子82・女子76)		29年度入学生	推薦	男子	2.55	30年度入学生	推薦	男子	1.40	31年度入学生	推薦	男子	1.50	
女子	5.50	女子	4.11			女子	2.50									
計	3.95	計	2.68	計	1.97											
文化スポーツ	1.71	文化スポーツ	1.20	文化スポーツ	1.40											
男子	1.41	男子	1.10	男子	1.05											
女子	1.96	女子	1.59	女子	1.09											
計	1.68	計	1.34	計	1.07											
そ の 他 の 特 徴	【文化・スポーツ等特別推薦】実施★硬式テニス 女子3 ★バスケボール 女子2															
主な学校行事	●体育祭 6月 ●文化祭(輝松祭) 9月 ●修学旅行 2学年秋 ●球技大会 3月															
目指す学校	教育目標「人格の完成を目指し、有為な社会人を育成する。」実現のために 1 真の希望進路を実現する学校 2 たくましく生きていく力を育てる学校 3 地域から信頼される学校															
今年度の重点目標					今年度の取組と自己評価											
目 標 ①	学習指導・進路指導の充実と工夫 ○家庭学習の習慣化→基礎的・基本的学力の徹底・定着→一人一人の希望進路の実現 ○主体的・対話的で深い学びに関する研修→「思考力」「判断力」「表現力」を育成する授業力の向上 ○進学アシスト校事業の活用による実力養成→第一志望へ「一つ上をめざす」「あきらめない」進学の実現				○予習→授業→復習のサイクルを確立させるため、宿題・課題・小テスト等を、各教科週1回以上実施。家庭学習の時間の目標一週間平均 1・2学年 1.5時間/日、3学年 2.0時間/日 → 目標達成率 1学年26%、2学年28%、3学年51%。○校内研修で、高大接続改革の情報、次期学習指導要領で育成を目指す資質・能力の三つの柱を確認。主体的・対話的で深い学びについて、真の意味で生徒の学力向上を図るための授業の工夫及び改善を学校全体で推進する流れはできてきた。ただし、授業満足度が生徒と教員の間で大きく乖離している点は、早急に対処すべき課題である。○受講生の模試結果等をみると、成果は上がっているが、途中で学習意欲が低下して継続できない受講者がいた点は大きな反省点である。											
目 標 ②	生活指導・健康づくりの充実と徹底 ○ルールとマナー重視→基本的な生活習慣の確立・授業規律の徹底→社会人として必要な資質の育成 ○思いやりのある言動、対面でのコミュニケーション重視→生徒相互、生徒と教員相互の信頼関係→安心して過ごせる環境 ○教育相談機能の活用→心身両面の健康への意識啓発				○集団生活の意義を自覚させ、社会人としての基本的なルールやマナーを身につけさせる指導を、年間を通じて粘り強く行った。あいさつ、遅刻の防止、服装や頭髮の乱れの防止等、教員からの声かけや指導があれば改善できる状況である。生徒自身が、安心して過ごせる環境を作る当事者としての意識をもち、主体的にルールやマナーを守る状況にしていける必要がある。また、SNSに関するトラブルを回避するための啓発も継続して行い必要がある。○養護教諭、生活指導部、スクールカウンセラーが連携して、生徒が身心のことに相対しやすいつ体制を維持・継続できた。保護者にもスクールカウンセラーの積極的な活用を促すことで、生徒の身心の健康を保つことについて、家庭と学校とが今以上に協力して支えていくことが可能となる。											
目 標 ③	広報活動の充実・地域交流 ○本校の特色の明確化や来校機会の拡充→情報発信方法の工夫→教育活動への理解促進→本校第一志望者数の増加 ○積極的な地域連携→外から見た学校の状況把握→開かれた学校づくり→広報活動への反映				○総務部を中心に、学校案内の内容を刷新し、学校見学会や学校説明会、外部実施の学校説明会や中学校への出前授業等、積極的に広報活動を行った。その結果、昨年度に比して志願者数が大幅に増え、高倍率となった。媒体の特長を活かした情報発信を試みたが、ホームページの活用が今後の課題である。○「人間と社会」の一環として、1学年の生徒全員及び部活動単位で、区役所、近隣の商店街や施設、町内会、NPO法人等と連携し、身近な地域に奉仕する活動に参加し、交流ができた。特に、野球部が協力している地元町内会の夏季ラジオ体操や、初めて参加した避難所訓練は、地域の方に好評であった。子供や高齢者と接する場面では、高校生の力に対する地域の期待は大きい。他の取組でも地域との連携を積極的に図っていきたい。											
数 値 目 標	今年度の数値目標の内容					28年度		29年度		30年度		今年度		32年度	33年度	34年度
						目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
	目標①	卒業時の進路決定率(%)				90	82	90	81	90	91	90	87	90	90	90
	目標②	遅刻生徒の人数 一日1クラスあたり(人以下)				1.00	1.57	1.00	1.61	1.00	2.00	1.00	2.10	1.00	1.00	1.00
目標③	東京都中学校長会進路対策委員会 第一志望調査結果倍率[1月](倍以上) 男子/女子				1.50/2.00	1.25/1.50	1.50/2.00	0.93/1.37	1.50/2.00	0.79/0.98	1.50/2.00	1.37/1.85	1.50/2.00	1.50/2.00	1.50/2.00	